

岡山県医療対策協議会
小児(救急)医療対策部会

資 料

平成22年9月30日

資 料 目 次

1 第6次岡山県保健医療計画について

- (1) 年齢区分別傷病程度別搬送人員のうち「急病」に係る死亡、
重症例について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) 小児初期救急体制の整備状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (3) 小児医療(小児救急医療を含む)計画(素案)・・・・・・・・ 5

2 地域医療再生計画実施事業について

- (1) 実施事業案・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

3 小児救急医療実態調査について

- (1) 調査予定案・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

年齢区分別傷病程度別搬送人員のうち「急病」に係る死亡、重症事例の検証(平成20年)

平成20年(1月1日～12月31日)

区分	原因	傷病程度					
		死亡	重症	中等症	軽症	その他	計
新生児 (生後28日未満)	交通事故	0	0	0	0	0	0
	一般負傷	0	0	0	5	0	5
	急病	1	1	8	8	0	18
	その他	0	8	23	7	3	41
	計	1	9	31	20	3	64
乳幼児 (生後28日～満7歳未満)	交通事故	1	8	41	292	2	344
	一般負傷	3	7	84	734	0	828
	急病	10	32	441	1,195	1	1,679
	その他	1	30	122	40	2	195
	計	15	77	688	2,261	5	3,046
少年 (7歳～18歳未満)	交通事故	1	62	194	942	17	1,216
	一般負傷	3	8	84	347	1	443
	急病	1	18	226	651	1	897
	その他	2	32	142	216	0	392
	計	7	120	646	2,156	19	2,948
計	交通事故	2	70	235	1,234	19	1,560
	一般負傷	6	15	168	1,086	1	1,276
	急病	12	51	675	1,854	2	2,594
	その他	3	70	287	263	5	628
	計	23	206	1,365	4,437	27	6,058
割合	交通事故	0.03%	1.16%	3.88%	20.37%	0.31%	25.75%
	一般負傷	0.10%	0.25%	2.77%	17.93%	0.02%	21.06%
	急病	0.20%	0.84%	11.14%	30.60%	0.03%	42.82%
	その他	0.05%	1.16%	4.74%	4.34%	0.08%	10.37%
	計	0.38%	3.40%	22.53%	73.24%	0.45%	100.00%

※消防保安課調べ

上記のうち、「急病」に係る死亡、重症事例を関係消防機関への照会により整理(計37症例)

区分		死亡	重症	覚知～病院収容平均時間(分)	問い合わせ平均回数(回)	救急隊接触時CPAであった	うちバイスタンダーCPR実施	現病、既往等がある(確認できたもののみ)
新生児 (生後28日未満)	死亡	1	17	1	1	0	0	
	重症	1	74	1	0	0	0	
乳幼児 (生後28日～満7歳未満)	死亡	10	24.8	1.1	8	5	5	
	重症	12	32.1	1	0	0	7	
少年 (7歳～18歳未満)	死亡	1	20	1	1	1	0	
	重症	12	30.1	1	3	2	10	

※救急活動記録等提供資料の内容により詳細把握が不可能な症例もある。

小児初期救急体制の整備状況

在宅当番医制・休日夜間診療所 (H21.9.1現在)										
医療圏	医師会	診療対象市町村名	参加医療機関数1)	当番時間帯における平均参加医師数2)	小児科を標榜している機関数	診療日数(20年度実績)	診療体制		救急当番時間帯における一日平均小児救急患者数	
							診療時間	(20年度実績)	うち転送患者数3)	
県南東部	岡山市医師会	岡山市	92	2	42	72	平日	13	0.5	
							○ 休日(土・日・祝日を含む)			9:00-17:00
							○ その他(年末年始のみ等)			9:00-17:00
	西大寺医師会	岡山市	27	1	22	72	平日	10	0.18	
							○ 休日(土・日・祝日を含む)			9:00-17:00
							○ その他(年末年始のみ等)			9:00-17:00
	玉野市医師会	玉野市	38	2	5	70	平日	不明	不明	
							○ 休日(土・日・祝日を含む)			9:00-17:00
	御津医師会	岡山市	27	3	19	236	○ 平日(20)	0.06	不明	
							○ 休日(土・日・祝日を含む)			18:00-21:00
○ その他(年末年始のみ等)							9:00-17:00			
赤磐医師会	岡山市赤磐市	41	3	14	72	平日	25.9	不明		
						○ 休日(土・日・祝日を含む)			9:00-17:00	
和気医師会	備前市和気町	27	2	2	70	○ 休日(土・日・祝日を含む)	8	不明		
						○ その他(年末年始のみ等)			9:00-17:00	
邑久医師会	瀬戸内市	18	2	9	72	平日	10	1		
						○ 休日(土・日・祝日を含む)			9:00-17:00	
岡山市休日夜間急患診療所	岡山市	/	/	1	1	○ 平日	10.6	0.47		
						○ 休日(土・日・祝日を含む)			20:30-23:00	
						○ その他(年末年始のみ等)			10:00-12:00、13:00-17:00、19:30-23:00	
計			270	16	114	/	123.32	1.18		
県南西部	北児島医師会	岡山市倉敷市	19	1	8	72	平日	2.2	0	
							○ 休日(土・日・祝日を含む)			9:00-17:00
							○ その他(年末年始のみ等)			9:00-17:00
	都窪医師会	岡山市倉敷市早島町	29	1	15	72	平日	8.4	不明	
							○ 休日(土・日・祝日を含む)			9:00-17:00
	倉敷医師会	倉敷市	66	1	12	66	○ 休日(土・日・祝日を含む)	7	不明	
							○ その他(年末年始のみ等)			9:00-17:00
	児島医師会	倉敷市	13	1	13	45	○ 平日	13	3	
							○ 休日(土・日・祝日を含む)			21:00-23:00
							○ その他(年末年始のみ等)			9:00-17:00、21:00-23:00
	玉島医師会	倉敷市	41	1	4	72	○ 休日(土・日・祝日を含む)	21.9	0.19	
							○ その他(年末年始のみ等)			9:00-17:00
	笠岡医師会	笠岡市矢掛町	27	3	16	72	平日(土含む)	15	不明	
○ 休日(日・祝日・年末年始を含む)							9:00-17:00			
井原医師会	井原市	13	1	9	72	○ 休日(土・日・祝日を含む)	11.9	不明		
						○ その他(年末年始のみ等)			9:00-17:00	
吉備医師会	岡山市倉敷市総社市	50	4	19	72	平日	19.3	不明		
						○ 休日(土・日・祝日を含む)			9:00-17:00	
浅口医師会	浅口市里庄町	17	1	0	72	○ 休日(土・日・祝日を含む)	6	0		
						○ その他(年末年始のみ等)			9:00-17:00	
倉敷市休日夜間急患センター	倉敷市	/	/	1	14	○ 休日(土・日・祝日を含む)	37	0.45		
						○ その他(年末年始のみ等)			9:00-17:00(12:30~13:00休診) 9:00-17:00(12:30~13:00休診)	
計			275	15	110	/	176.7	3.19		

在宅当番医制・休日夜間診療所

(H21.9.1現在)

医療圏	医師会	診療対象市町村名	参加医療機関数 ¹⁾	当番時間帯における平均参加医師数 ²⁾	小児科を標榜している機関数	診療日数(20年度実績)	診療体制		救急当番時間帯における一日平均小児救急患者数	
							診療時間	(20年度実績)	うち転送患者数 ³⁾	
高梁・新見	高梁医師会	高梁市 吉備中央町	20	2	9	72	平日	不明	不明	
							○ 休日(土・日・祝日を含む)			9:00-17:00
							○ その他(年末年始のみ等)			
	新見医師会	新見市	4	1	0	71	平日(土含む)	不明	不明	
							○ 休日(日・祝日を含む)			9:00-17:00
							○ その他(年末年始のみ等)			9:00-17:00
新見市休日・準夜間診療所	新見市	/	1	1	242	○ 平日(土含む)	19:00-21:00	1.5	不明	
						○ 休日(日・祝日を含む)	9:00-17:00	14.1		
						○ その他(年末年始のみ等)	9:00-17:00			
計			24	4	10	/		15.6	不明	
真庭	真庭市医師会	真庭市 新庄村	30	2	13	75	平日	11.3	不明	
							○ 休日(土・日・祝日を含む)			9:00-17:00
							○ その他(年末年始のみ等)			9:00-17:00
計			30	2	13	/		11.3	不明	
津山・英田	津山市医師会	津山市	31	1	11	294	○ 平日(月～土)	17:00-22:00	21.4	0.34
							○ 休日(日・祝日を含む)	9:00-17:00	92.8	
							○ その他(年末年始のみ等)			
	吉田郡医師会	鏡野町	10	1	5	96	平日	4.9	0	
							○ 休日(土・日・祝日を含む)			9:00-17:00
							○ その他(年末年始のみ等)			9:00-17:00
	勝田郡医師会	勝央町、奈義町、美作市(旧勝田町部分)	9	1	0	72	平日	7	0.26	
							○ 休日(土・日・祝日を含む)			8:30-17:00
							○ その他(年末年始のみ等)			8:30-17:00
	美作市医師会	美作市	11	1	2	72	平日	0.7	0	
							○ 休日(土・日・祝日を含む)			9:00-17:00
							○ その他(年末年始のみ等)			9:00-17:00
久米郡医師会	久米南町 美咲町	7	1	3	72	平日	不明	不明		
						○ 休日(土・日・祝日を含む)			9:00-17:00	
						○ その他(年末年始のみ等)			9:00-17:00	
計			68	5	21	/		105.4	0.6	

- 1)「参加医療機関数」は、小児科を標榜しているか否かに関わらず、小児初期救急体制に参加している診療所とする。(例:小児科の在宅当番に参加している内科 等)
- 2)「当番時間帯における平均参加医師数」は、小児科医に限らず、小児を診察する医師数とする。(例:小児を診察する内科医 等)
- 3)「うち転送患者数」とは、高次の医療機関に転送した小児患者数とする。

初期救急対応の状況

圏 域		平日夜間	土曜夜間	日曜祝日昼間	日曜祝日夜間	
県南東部	岡山市医師会			在宅当番		
	西大寺医師会					
	赤磐医師会					
	御津医師会	18:00~21:30				
	和気医師会					
	邑久医師会					
	玉野市医師会					
	北児島医師会	岡山市藤田地区				
		岡山市興除地区				
		岡山市灘崎地区				
	都窪医師会	岡山市吉備地区				
		岡山市妹尾地区				
吉備医師会	岡山市高松・足守地区					
岡山市休日夜間急患診療所		小児科 20:00~22:30		小児科 9:30~22:30		
県南西部	倉敷医師会			在宅当番		
	北児島医師会	倉敷市郷内地区				
	児島医師会		18:00~23:00 市民病院	第3・4 21:00~23:00 当番機関	9:00~翌8:30又は9:00~17:00(市民病院、児島中央病院)	
	都窪医師会	茶屋町地区			在宅当番	
		早島地区				
	吉備医師会	総社市	19:00~21:00 毎週(水)(金)、第3月曜		在宅当番	
		倉敷市真備町				
	玉島医師会		21:00~23:00 当番機関	21:00~23:00 当番機関	在宅当番 21:00~23:00 当番機関	21:00~23:00 当番機関
	浅口医師会				在宅当番	
	笠岡医師会					
井原市医師会						
倉敷市休日夜間急患センター		20:00~23:00		9:00~23:00		
高梁・新見	高梁医師会			在宅当番		
	新見医師会			市内4病院		
	新見市休日・準夜間診療所		19:00~21:00	—	9:00~17:00	—
真庭	真庭市医師会			在宅当番		
津山・英田	津山市医師会		~22:00 津山中央病院(内科系) 津山第一病院(外科系)	~22:00 津山中央病院(内科系) 津山第一病院(外科系)	在宅当番	~22:00 津山中央病院(内科系・外科系)
	美作市医師会					
	久米郡医師会					
	勝田郡医師会					
	苫田郡医師会					

第6次岡山県保健医療計画の策定について

1 概要

本県では、平成18年4月に第5次岡山県保健医療計画を策定し、さらに平成20年3月には、医療制度改革の動向や医療連携体制の構築等の新たな課題に適切に対応するため必要な改訂（追加・増補版の策定）を行ったところであるが、第5次岡山県保健医療計画の目標年次が平成22年度となっていることから、第6次となる岡山県保健医療計画を策定する。

2 計画の基本理念

すべての県民がいきいきとした生活を送れるよう、県内どこに住んでいても質の高い保健医療サービスが受けられる体制の充実を基本理念とし、住民・患者の視点に立った医療情報の提供や疾病の予防・治療・リハビリテーション、介護までのより良質で効率的な保健医療体制の確立を目指す。

3 計画の期間

平成23年度から平成27年度までの5年間。

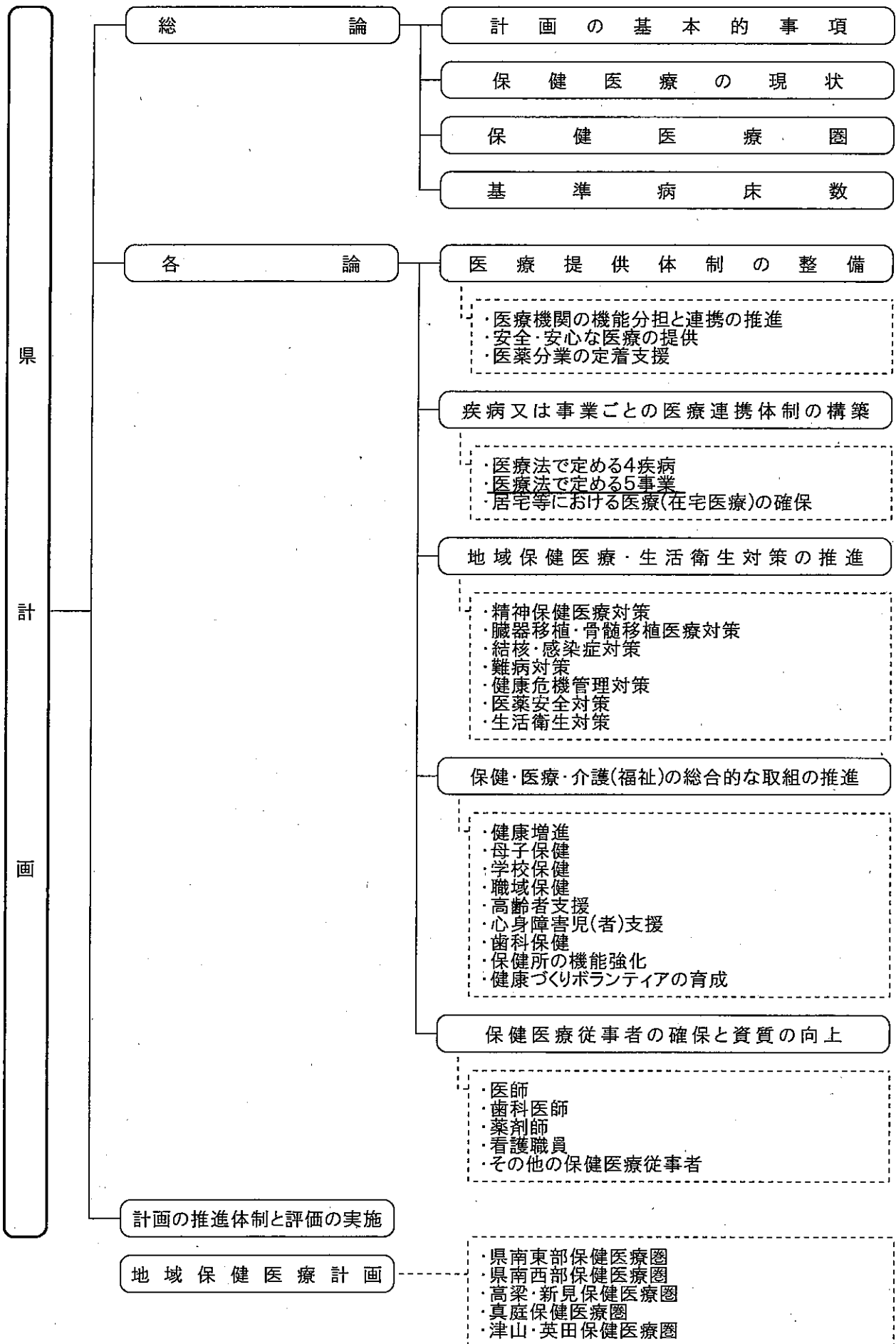
4 計画策定の方法

保健医療関係者、住民代表、学識経験者等で組織する岡山県保健医療計画策定協議会で協議するとともに、広く県民から募集するパブリック・コメントや関係団体等の意見を反映させて策定する。

5 計画策定のスケジュール

3月12日	第1回保健医療計画策定協議会(策定方針、計画項目等の検討)
5月25日	第2回保健医療計画策定協議会(医療関係有識者からの意見聴取)
7月30日	第3回保健医療計画策定協議会(骨子の検討)
10月	第4回保健医療計画策定協議会(素案の検討)
11月	第5回保健医療計画策定協議会(素案の決定)
12月	パブリック・コメントの実施、関係団体等からの意見聴取
23年1月	第6回保健医療計画策定協議会(計画案の決定)
2月	医療審議会への諮問
3月	医療審議会からの答申、計画決定・公示

第6次岡山県保健医療計画の体系



5 小児医療(小児救急医療を含む)

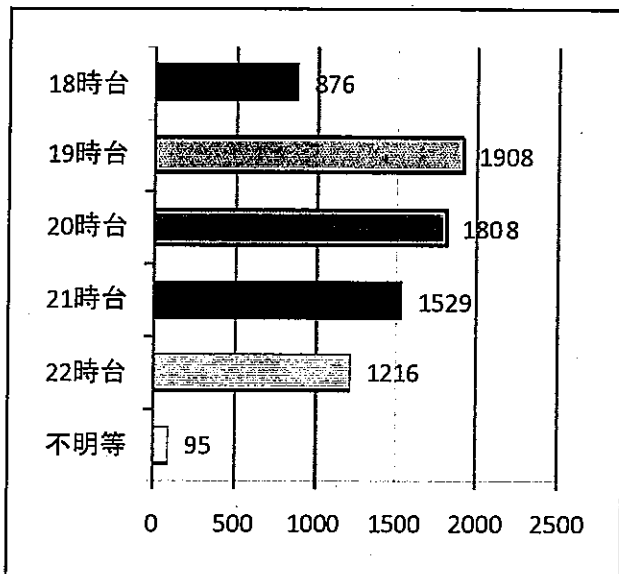
1 現状と課題

(1)小児(救急)患者の症状に応じた救急医療体制の充実

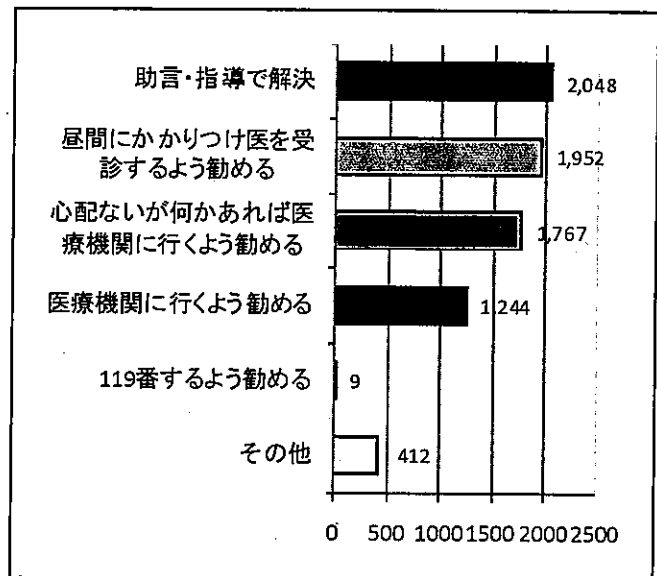
現状	課題
<p>○小児救急医療電話相談を毎日、準夜間帯に実施しており、平成21年度は約7,500件の相談となっています。相談内容では、発熱や嘔吐、けがなどの相談が多く、助言で解決したり、昼間にかかりつけ医療機関を受診するよう勧める相談が多くなっています。 (図2-2-2-12)</p> <p>○県内の満18歳未満のけがや病気による救急搬送患者は、年間約6,000人ですが、約7割が軽症患者です。また、小児救急医療実態調査※によると、休日や夜間における小児救急患者のうち、入院の必要な患者は約5%と軽症の場合でも二次・三次救急医療を担う医療機関を受診しています。また、患者は、5カ所の小児救急医療支援病院に集中する傾向があります。こうしたことから、保護者等に対し適切な救急利用等について啓発を行っています。 (図2-2-2-13、図2-2-2-14)</p>	<p>○小児救急患者の保護者等の不安や悩みの軽減、症状への対応方法等について、適切に助言が行えるよう、相談体制を維持していく必要があります。</p> <p>○在宅当番医制、休日夜間急患センターなどの初期救急医療機関、病院群輪番制による二次医療機関、さらに三次救急医療機関が相互に連携、協力しながら、小児救急患者の症状に応じて適切に受け入れる体制を確保するとともに、救急医療のかかり方等について保護者等の理解をより深めることで、適切な救急医療機関の利用を促進していく必要があります。</p>

図2-2-2-12 小児救急医療電話相談の状況(平成21年度)

〔時間帯別相談状況〕 (単位:件)

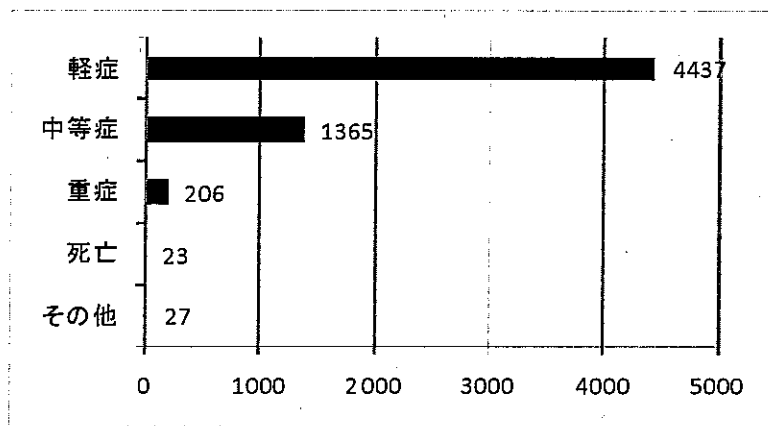


〔相談への対応状況〕 (単位:件)



(資料:岡山県医療推進課)

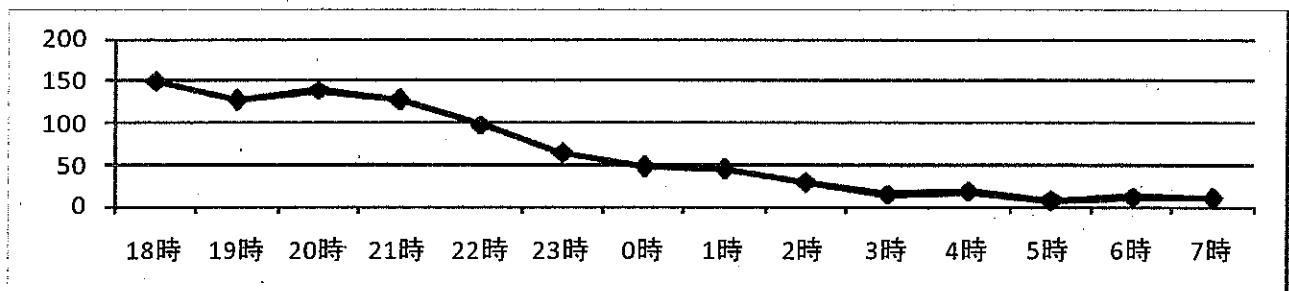
図2-2-2-13 満18歳未満の傷病程度別搬送人員の状況(平成20年1月～12月)
(単位:人)



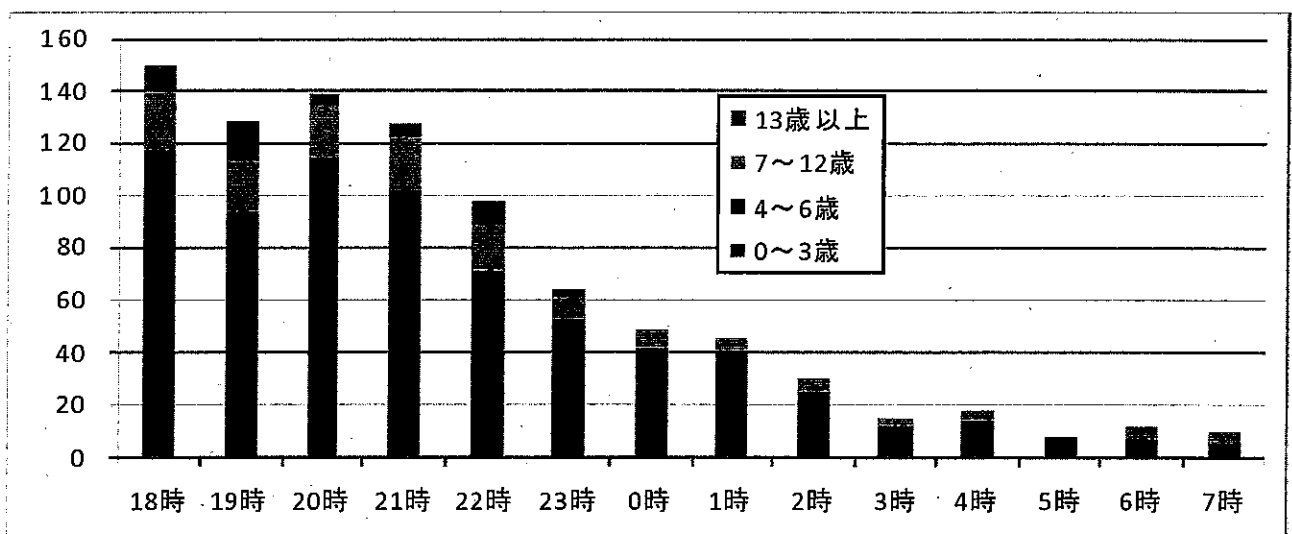
(資料:岡山県

消防保安課)

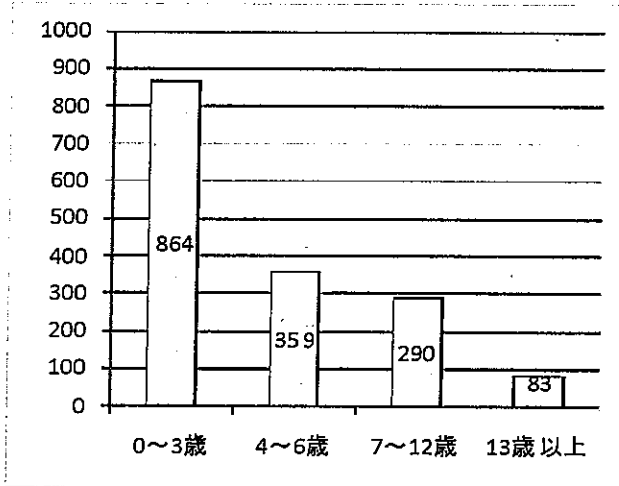
図2-2-2-14 県内の二次救急病院等における小児救急患者の受入状況
〔受診時間帯別件数の状況〕 (単位:人)



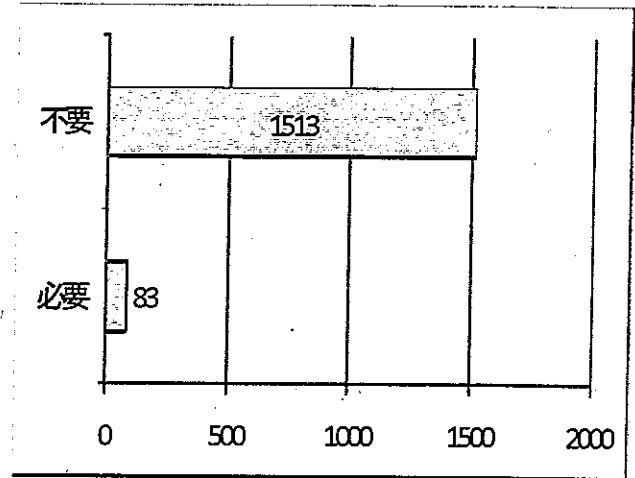
〔時間別年齢層別受診状況(18時～7時)〕 (単位:人)



〔年齢層別受診状況〕（単位：人）



〔入院の要不要の状況〕（単位：人）



（資料：岡山県医療推進課「小児救急医療実態調査」）

※ 小児救急医療実態調査

1)調査対象医療機関

病院群輪番制病院(28)、協力病院当番制病院(39)、休日夜間急患センター(3)、岡山大学病院の計71医療機関

2)対象期間・患者

平成22年2月20日(土)~26日(金)(土日・休日は全時間帯、平日は0時~8時、18時~24時)における小児科応需患者又は小児科応需が望ましい患者

(2)小児(救急)医療体制の確保

現状	課題
○県内の年少人口1万人当たりの小児科医師数は9.8人と全国平均の8.9人を上回っていますが、県南東部保健医療圏を除き全国平均以下となっており、医療圏によっては、極めて少ない状況にあります。また小児科を標榜する医療機関数も医療圏により状況が大きく異なります。(表2-2-2-5、表2-2-2-6)	○小児科医師の確保を推進する必要があります。また、小児医療体制に課題のある圏域では、圏域の医療機関で小児初期救急医療へ対応するとともに、他圏域の医療機関との連携を強化するなど、小児救急患者の受入体制の充実を図る必要があります。

表2-2-2-5 医療施設に従事する小児科医師の状況

(単位：人)

区分	県南東部	県南西部	高梁・新見	真庭	津山・英田	計
医師数	154	86	6	1	18	265
年少人口1万人当たり医師数	12.1	8.4	7.7	1.5	6.9	9.8

(資料：厚生労働省「平成20年 医師・歯科医師・薬剤師調査」)

表2-2-2-6 県内の小児科を標榜する医療機関の状況

(単位:施設)

区分	県南東部	県南西部	高梁・新見	真庭	津山・英田	計
病院	25	22	2	1	6	56
診療所	228	150	17	12	39	446
計	253	172	19	13	45	502

(平成22年3月 厚生労働省「医療施設調査(動態)」)

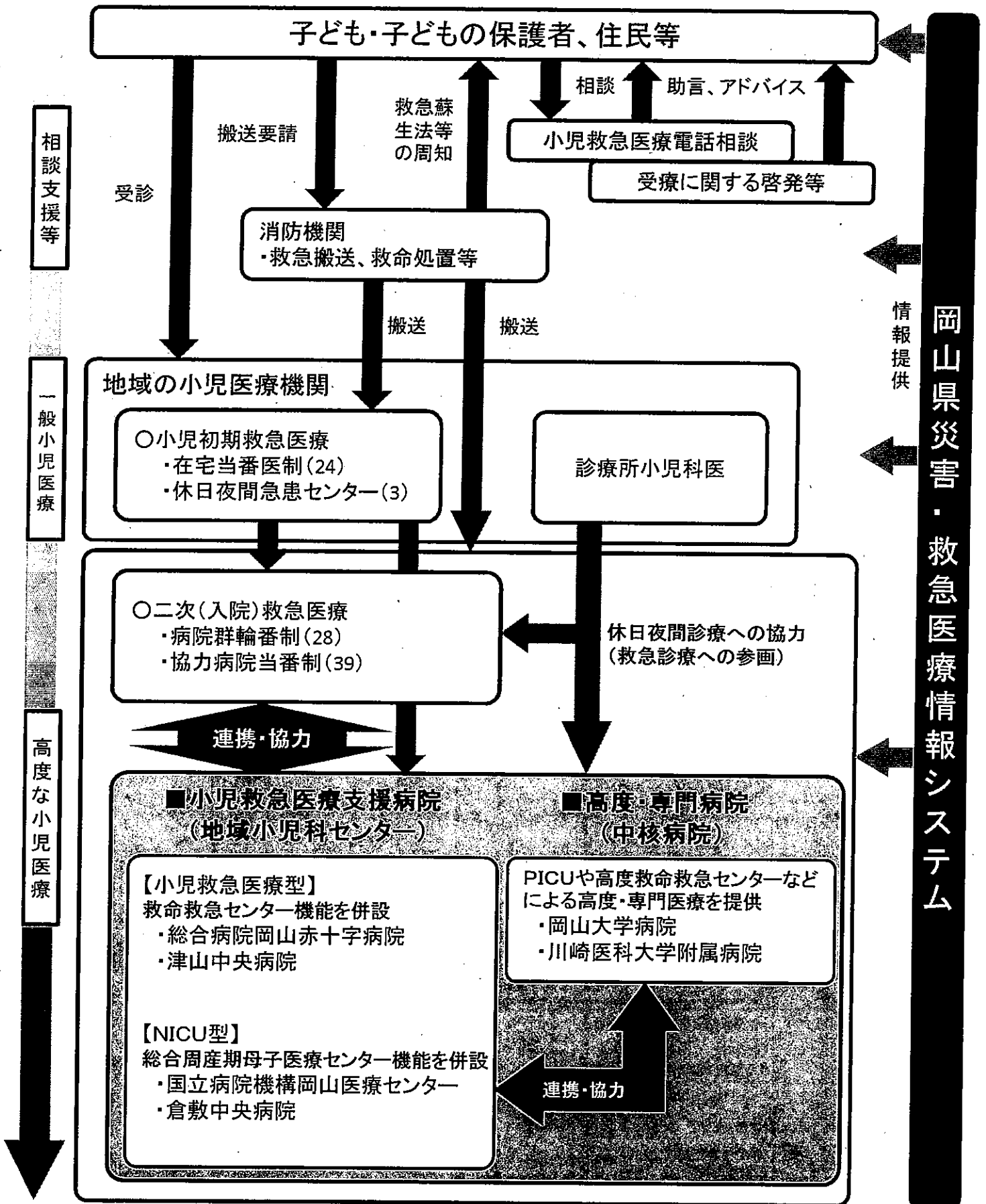
2 施策の方向

項目	施策の方向
小児(救急)患者の症状に応じた救急医療体制の充実	<p>○平日及び休日等の準夜帯に実施している小児救急医療電話相談について、県医師会と連携しながら、医師や看護師による適切な助言が受けられる体制を確保します。また、小児救急医療電話相談の利用の促進について、県民への周知を図ります。</p> <p>○小児救急医療支援事業や小児救急医療拠点病院※整備事業を実施し、休日や夜間における小児救急医療体制の確保を図ります。また、入院対応が可能な救急医療機関、救命救急センターや総合周産期母子医療センター機能を有する医療機関、PICU(小児集中治療室)など高度・専門機能を有する医療機関等が相互に連携しながら、小児の救急患者が適切に入院や治療などが受けられる体制の確保を図ります。</p> <p>○市町村や関係団体等と連携しながら、発熱等の症状別の対処法や応急手当などの啓発を図るほか、できるだけ医療体制の整った昼間に受診するよう心がけることや、かかりつけ医を持つことなどについて、保護者等に普及啓発を図ります。</p>
小児(救急)医療体制の確保	<p>○大学や関係団体等と連携しながら、小児科医師の確保に努めるとともに、小児科医師を志す医師の約半数が女性医師であることから、出産・育児等と勤務との両立ができる就労環境づくりと離職した場合の復職に向けた支援を促進します。</p> <p>○地域の診療所小児科医による小児救急医療支援病院等の小児救急外来への参画を推進し、患者の集中する病院の小児救急医療体制の充実を図ります。</p> <p>○関係団体等と連携しながら、内科医師等を対象に小児救急医療対応研修を実施し、小児初期救急医療への対応能力向上を図ります。</p>

※ 小児救急医療拠点病院

休日夜間の診療体制を常時整え、原則として初期救急医療施設及び救急搬送機関から転送された小児重症救急患者を必ず受け入れています。

小児(救急)医療体制(案)



小児医療の医療連携体制(案)

病期	相談支援等	一般小児医療	高度な小児医療		
			入院が必要な医療	高度な入院医療	高度・専門医療
機能	健康相談等の支援機能	地域における日常的な小児医療の実施	地域における入院による小児医療	小児救急医療支援病院(地域小児科センター)	高度・専門病院(中核病院)
目標	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの急病時の対応支援 ●救急搬送、救命処置等の実施 ●地域医療の情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域に必要な一般小児医療の実施 ●療養・療育が必要な小児に対する支援 ●初期小児救急の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●一般の小児医療機関では対応が困難な患者に対する医療 ●入院を要する小児救急医療の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の入院対応小児医療機関では対応が困難な患者に対する医療 ●入院を要する小児救急医療又は小児の救命救急医療を24時間体制での実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の入院対応小児医療機関では対応が困難な患者に対する高度・専門医療 ●入院を要する小児救急医療又は小児の高度救命救急医療を24時間体制での実施
求められる要件	<p>(家族等周囲にいる者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般的な小児医療に必要とされる診断・検査・治療 ・必要に応じた小児救急医療電話相談の活用 ・不慮の事故の原因となるリスクの排除 ・救急蘇生法等の適切な処置の実施 <p>(消防機関等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な医療機関への速やかな搬送と救命処置 ・救急蘇生法等の必要な知識の普及啓発 <p>(行政機関)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児救急医療電話相談の実施 ・急病時の対応等の受療行動の啓発 ・地域の医療資源や福祉サービス等の情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的な小児医療に必要とされる診断・検査・治療 ・軽症の入院治療 ・療養・療育が必要な小児に対する支援 ・医療、介護及び福祉サービスの調整 ・慢性疾患の急変時に備えた、対応可能な医療機関との連携 ・平日昼間における初期小児救急医療の実施 ・緊急手術や入院等を要する場合に備えた、対応可能な医療機関との連携 ・開業医等による休日夜間急患センターや地域連携小児夜間・休日診療等への参画 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般の小児医療を行う機関では対応が困難な患者や常時監視・治療の必要な患者等に対する入院治療 ・地域の小児医療機関との連携体制の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・高度の診断・検査・治療や勤務医の専門性に応じた専門医療 ・入院を要する小児救急医療の24時間365日体制又は重篤な小児患者に対する救命救急医療 ・地域の医療機関との連携 ・高度・専門病院との連携 ・地域の医療機関に対する小児救急医療に関する助言 	<ul style="list-style-type: none"> ・広範囲の臓器専門医療を含めた高度専門的な診断・検査・治療 ・入院を要する小児救急医療の24時間365日体制又は重篤な小児患者に対する高度救命救急医療 ・地域の医療機関との連携 ・小児救急医療支援病院との連携 ・地域の医療機関に対する小児救急医療に関する助言
連携		より専門的な医療を要するなど対応が困難な患者に係る連携			
		療養・療育支援を要する小児の退院支援や在宅生活支援に係る連携			
医療機関等		<ul style="list-style-type: none"> ・小児科を標榜する医療機関 ・小児科以外(内科等)を標榜する医療機関 <p><休日・夜間></p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅当番医制に参加している医療機関等 ・終日の対応が可能な医療機関 ・休日夜間急患センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次(入院)救急医療実施医療機関 ・病院群輪番制に参加している医療機関 ・協力病院当番制に参加している医療機関 	<p>【小児救急医療型】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合病院岡山赤十字病院 ・津山中央病院 <p>【NICU型】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国立病院機構岡山医療センター ・倉敷中央病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山大学病院 ・川崎医科大学附属病院

第6次保健医療計画の数値目標

項 目	策定時の状況	平成27年度末目標数値
休日夜間における小児救急患者で入院を要しない患者の割合	95.4% (H21 小児救急医療実態調査による数値)	<p><目標数値> 減少</p> <p><目標数値として設定する理由> 休日や夜間において二次救急医療機関等において受け入れる小児救急患者のうち、軽症患者が減少することにより、重症患者への対応強化と病院勤務医の負担軽減を図る。</p>
年少人口1万人当たりの小児科医師数	9.8人 (H20 医師・歯科医師・薬剤師調査より)	<p><目標数値> 11人以上</p> <p><目標数値として設定する理由> 本県の小児医療体制を更に充実していくための数値。</p>

地域医療再生計画による小児救急関連事業について

〈地域医療再生計画 抜粋〉

(1) 県全体で取り組む事業

【地域医療に従事する医師等を確保する】

⑤ 地域の医師等との協働による救急医療等の対応向上事業

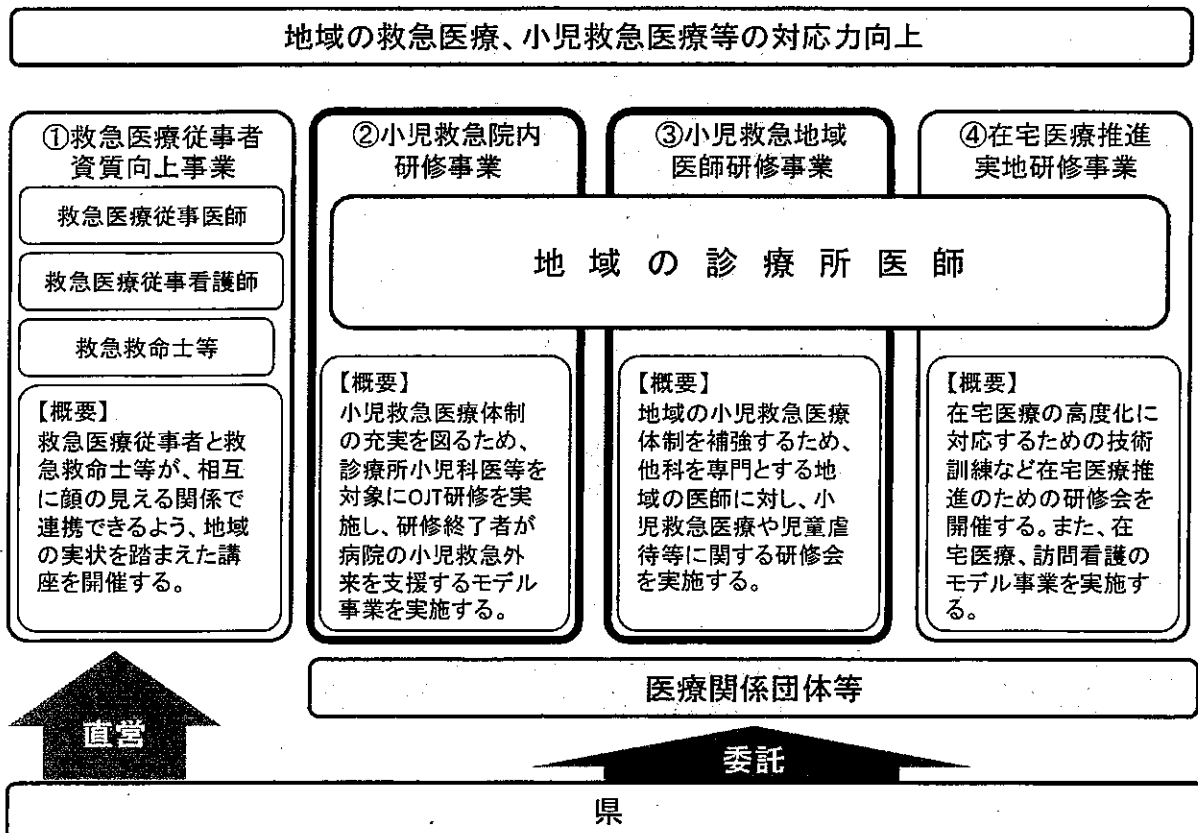
- ・平成22年度事業開始
- ・事業総額 49,476千円(国庫補助4,756千円、基金29,998千円、県14,722千円)

医師確保対策のみでは短期間で小児科医師を確保することは困難であることから、地域の内科医師等を対象に、小児救急医療研修を実施し、初期救急医療を担う当番医の小児救急患者への対応能力の向上を図るとともに、診療所小児科医を対象に救急病院でOJT研修を行い、修了者が救急病院の小児救急外来を支援する事業を実施することで、救急病院の小児救急対応能力の向上と医師の勤務環境改善を図る。なお、内科医、産科医等についてもモデル的に実施し、救急対応能力の向上と医師の勤務環境改善を図る。

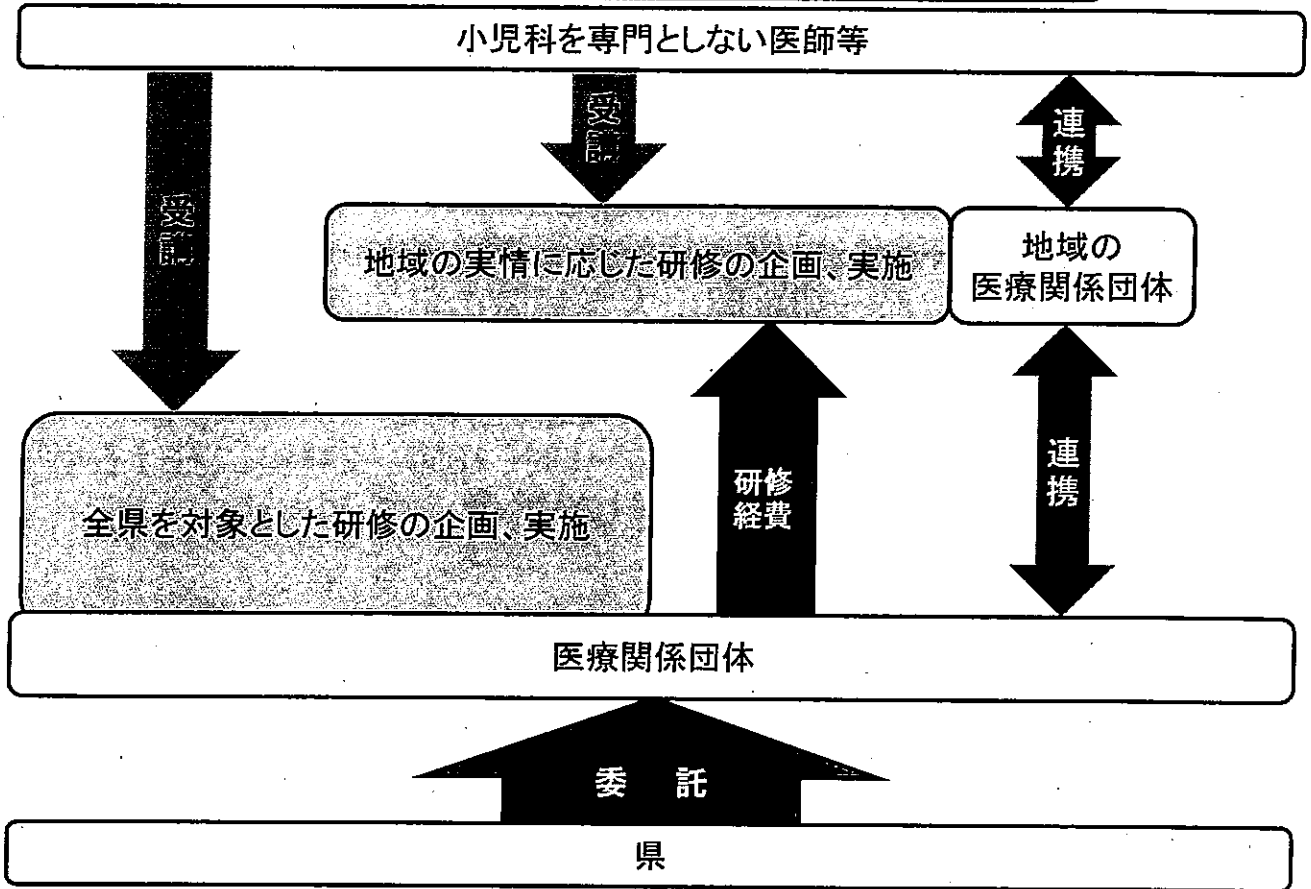
また、救急医療に従事する医師や看護師と救急搬送を行う救急救命士が、お互いに顔の見える関係での連携を深めることで、より円滑な救急医療体制の確立を図るため、地域の実状を踏まえた講座を開催する。

これに加え、救急医療機関の平均在院日数の短縮化とともに、医療ニーズの高い在宅療養患者を支援する体制の充実が求められていることから、在宅医療の質の向上を図るための研修会を開催する。

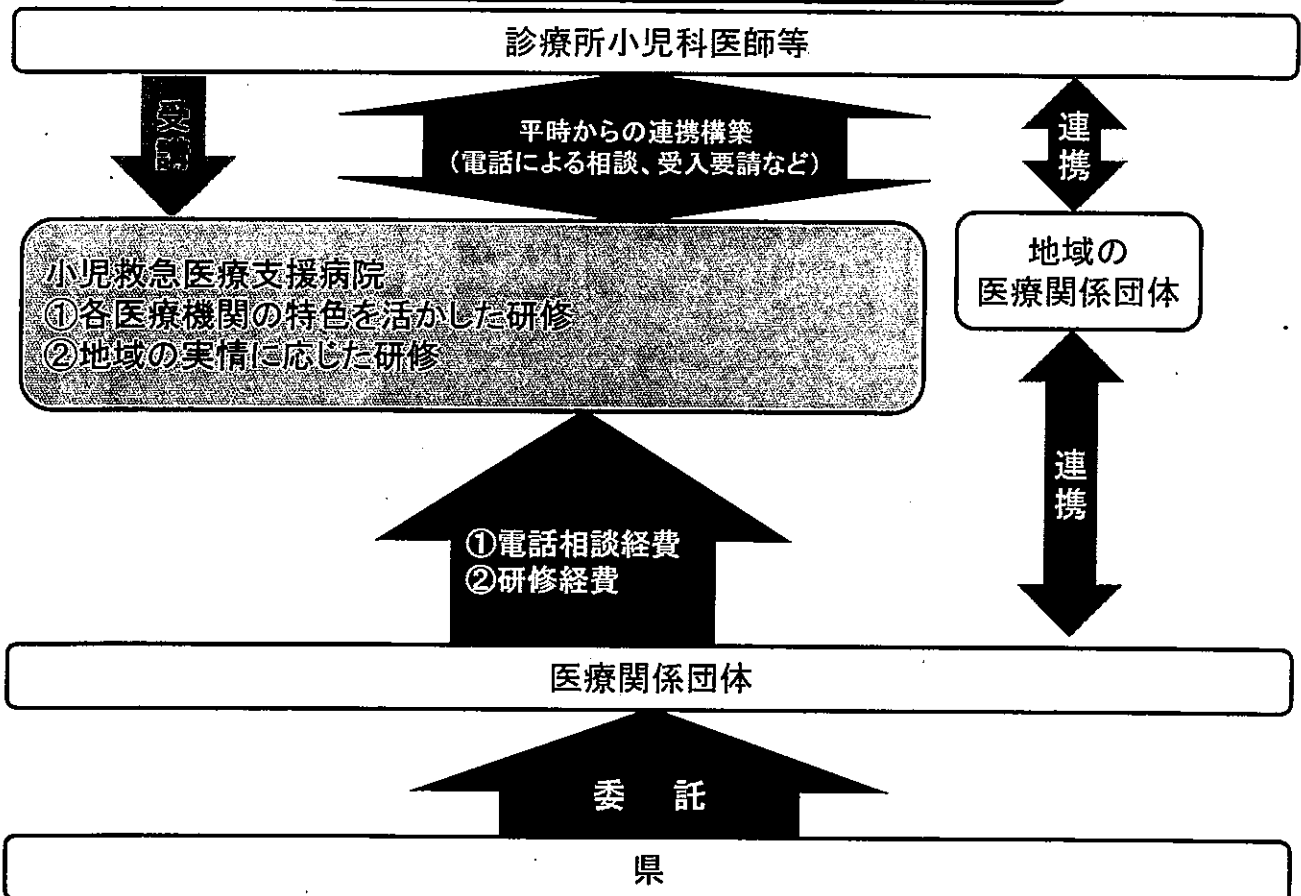
地域の医師等との協働による救急医療等の対応向上のための研修事業の概要(案)



小児初期救急地域医師研修事業(案)



小児救急院内研修事業(案)



小児救急医療実態調査

平成22年度「小児救急医療実態調査」実施予定

1 調査対象医療機関

病院群輪番制病院(28)、協力病院当番制病院(39)、
休日夜間急患センター(3)、岡山大学病院の計71医療機関

2 対象期間・患者

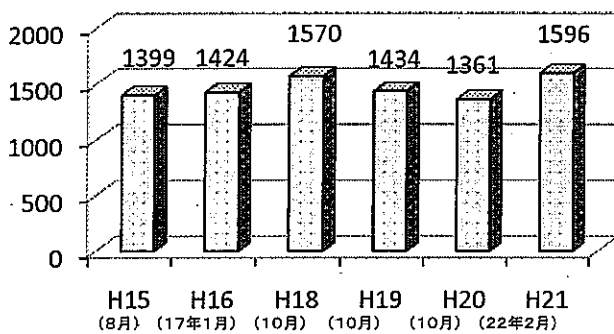
平成22年10月下旬～11月上旬の1週間を予定

(土日・休日は全時間帯、平日は0～8時、18時～24時)における小児科応需患者又は小児科応需が望ましい患者

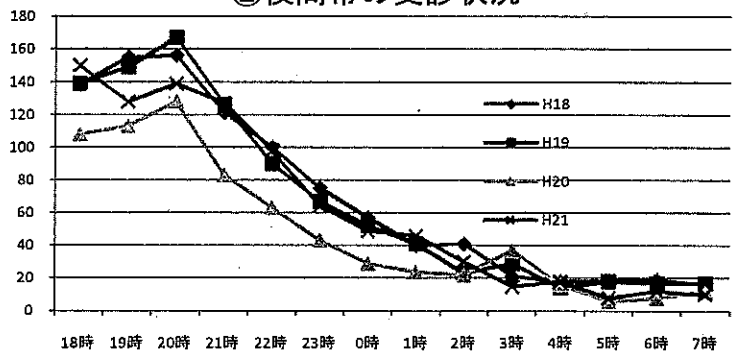
3 調査票(別紙)

※以下は病院の応需状況

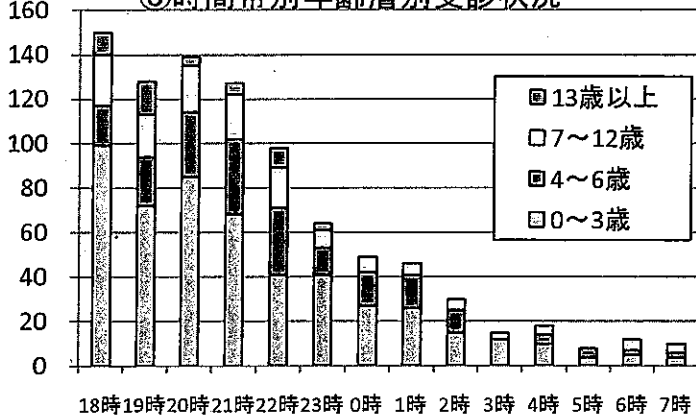
①患者数の推移



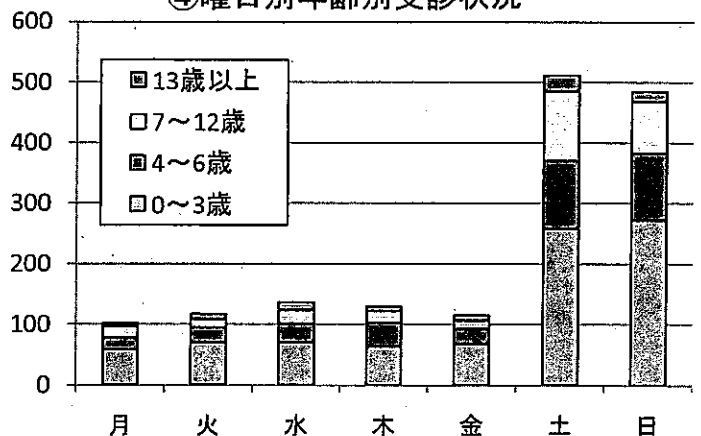
②夜間帯の受診状況



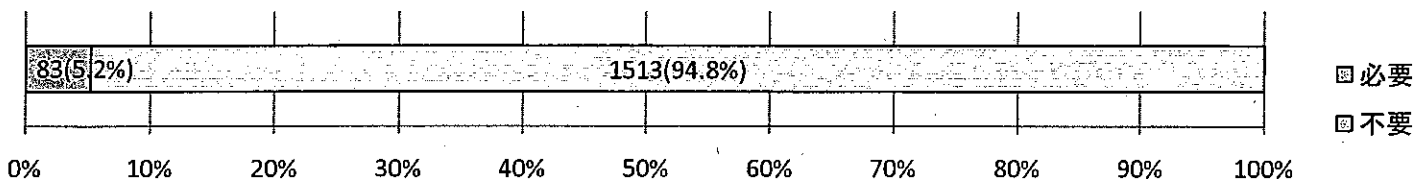
③時間帯別年齢層別受診状況



④曜日別年齢層別受診状況



⑤入院の要否



小児救急医療実態調査票

調査年月日	平成22年 月 日 (曜日)	標榜 診療時間						医療機関名		
※土日・休日は全ての時間帯、その他の日は0時～8時、18時～24時に受診した小児科受診患者又は小児科受診が望ましい患者について順次記入してください。								所在地(市町村名)		
(科目 / 科中)		他医療機関からの転送		受付時刻 (24時間制)	診療時間		一次対応医師 1. 小児科・小児外科医 2. 救急医 3. その他の診療科目	緊急入院 1. 要 2. 否	他医療機関への転送	
NO.	患者 住所 (市町村)	生年月日	施設名		施設住所 (市町村)	1. 時間内 2. 時間外			時間外の場合 1. 当番 2. 非番	施設名
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										